

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		10 02 21	中期総合計画主要施策番号		3-08	担当課	部・課	林務部信州の木振興課	
事業名		林道施設災害復旧事業					内線	3247	
							E-mail	ringyo@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	異常な天然現象により、被災した林道について復旧工事を行い従前の機能を回復させる。							
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] 管理主体である県・市町村等において適宜維持管理を行っているが、異常な天然現象により施設が被災する。							
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] 近年の集中豪雨により、山間部であり地形が急峻等の厳しい現場条件やコンクリート等構造物が比較的少ない施設のため、被害が発生しやすい。							
		[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] 災害の発生原因を正確に調査し適切な施設を復旧または新設することで、被災しにくい施設を整備し林業関係車両等の安全な通行を確保する必要がある。							
	事業内容	異常な天然現象により被災した林道について、従前の機能を回復させるため市町村等が行う必要な施設の整備に対し補助する。(基本補助率:奥地;[国]6.5/10、その他;[国]5/10)(激甚災害指定等による補助率の嵩上げがある。)							
実施期間	S25 ~	根拠法令等	暫定法(昭和25年法第169号)						
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	被災した林道の早期復旧を図る。		平成20年災復旧工事の目標着手率を100%とする。(施越工事を含む)			平成20年災の着手率は100%であり計画どおり推移した。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	951,346	190,432	742,115	国庫・県単	公共	
	決 算 額 (B)		千円	2,179,109	751,430		実施方法	補助	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	42,187	15,987	15,390	歳出節別	予算現額(最終予算額+繰越額等)765,062	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	10.0	10.0	10.0	内訳等	平均工事期間1年未満	
	概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円	2,179,109	751,430	742,115	(単位:千円)		
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	実施箇所数		箇所	143	13	139	平成20年度完了箇所:5箇所		
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・平成16年、18年と大災害が発生しており施設災害復旧への地域要望は依然として高い。 ・民有林林道の施設災害復旧事業は、県を経由して市町村へ補助する仕組みとなっており、県の関与を見直す余地はない。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
課題の総括		林道の通行を早期に確保するため、災害発生直後から早急に取り組むとともに経済的、効果的な工法の選択に努める必要がある。							